

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-501447(P2005-501447A)

【公表日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2003-521476(P2003-521476)

【国際特許分類第7版】

H 03M 7/30

H 04N 1/41

H 04N 7/24

【F I】

H 03M 7/30 Z

H 04N 1/41 Z

H 04N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月14日(2005.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

変換係数(K)を量子化して量子化値(L)を求める量子化方法において、

前記変換係数を入力するステップと、

量子化パラメータ(QP)を入力するステップと、

前記量子化値を求めるステップとを備え、

前記量子化値は、前記量子化パラメータの関数である仮数部分(Am(QP))及び指
数部分(Ae(QP))を用いて

L = K × Am(QP) >> Ae(QP) (>> は右シフト演算を表す)

により求められ、

前記仮数部分の関数の構造は、定数(P)を用いて

Am(QP) = Am(QP mod P)

であることを特徴とする量子化方法。

【請求項2】

量子化値(L)を逆量子化して変換係数(K)を求める逆量子化方法において、

前記量子化値を入力するステップと、

量子化パラメータ(QP)を入力するステップと、

前記変換係数を求めるステップとを備え、

前記変換係数は、前記量子化パラメータの関数である仮数部分(Bm(QP))及び指
数部分(Be(QP))を用いて

K = L × Bm(QP) << Be(QP) (<< は左シフト演算を表す)

により求められ、

前記仮数部分の関数の構造は、定数(P)を用いて

Bm(QP) = Bm(QP mod P)

であることを特徴とする逆量子化方法。